

赤外線オープンパス式可燃性ガス検知器 IR5500

パス長 5~150mの2点間の空間ガス濃度を3秒以内で検知

投光器と受光器の間の光路をガスが通過した時の赤外線吸光度を測定しppm・mとLEL・mで表す。

炭化水素のみに反応

メタン 0~5000ppm・mレンジと0~5LEL・mレンジの自動切り替え

プロパン 0~2000ppm・mレンジと0~1LEL・mレンジの自動切り替え



設置メリット1

- 高圧ガス保安法関連法規では、ポイントタイプのガス検知器の設置が規定されています。
- ポイントタイプのガス検知器でのガス漏洩検知確度は、風によるガス拡散方向と拡散速度に大きく影響を受けます。
- 本、赤外線オープンパス式可燃性ガス検知器を設備群外周に設置することでこのガス漏洩検知確度を補完します。

設置メリット2

- 既設のポイントタイプガス検知器の設置は、プラント設計時の漏洩する可能性のある場所や滞留する可能性のある場所に集中して設置されています。
- 設備が老朽化すると思わぬ場所からの漏えい事故の可能性が高まります。
- 本、赤外線オープンパス式可燃性ガス検知器を設備群外周に設置することでこのガス漏洩検知確度を補完します。

設置メリット3

- 赤外線オープンパス式可燃性ガス検知器を設備群外周に設置すると漏えいしたガスの濃度は非常に薄くなります。
- その為に本、赤外線オープンパス式可燃性ガス検知器はPPMLレベルの検知が可能です。